

マンスリーサポーター
まるクルー
募集中!

人生を自由に広げていく力を 気仙沼から次世代に届けたい。

気仙沼で起きている中高生の探究的な学びを漫画にして発信する「中高生の問いストーリー」や小学生の「放課後たんけん」は皆さんからのご支援を充てて運営しています。地域内外から小中高生を応援する機運が高まることをねらいにしています。一人でも多くの小中高生に人生を自由に広げていく力を届けたい、その想いを形にしていける仲間になってください!

マンスリーサポーター

活動へのご支援を毎月定額寄付にて受け付けております(1口1,000円~自動引き落とし)。マンスリーサポーターには、四半期に一度のシーズンレポートと年間レポートをお送りいたします。Facebook限定ページから日々の活動もご覧いただくことができます。
<https://maru-office.com/support/>

寄付ページは
こちら



その都度、自由な金額でのご寄付もありがたくお受けしています。

気仙沼信用金庫 本店 (店番 001)
普通預金 / 口座番号 0002218/
社) まるオフィス

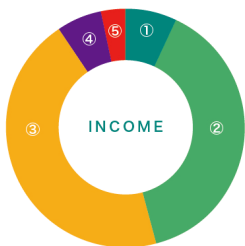
お振込者名の前に「キフ」とご明記ください。
例: キフケンヌマタロウ

YouTubeチャンネル

まる
チューブ
動画レポート配信中!

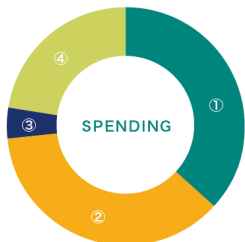


2022年度 収支報告



収入 総額 42,779,399円

- ①ご寄付・協賛3,014,197円 (7.1%)
- ②行政委託 (探究学習支援に関する事業)16,667,581円 (39.0%)
- ③行政委託 (移住・定住支援に関する事業)19,134,915円 (44.7%)
- ④事業収入2,626,301円 (6.1%)
- ⑤その他1,336,405円 (3.1%)

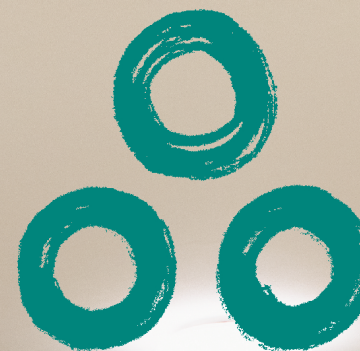


支出 総額 43,953,493円

- ①事業費 (学び企画)16,221,569円 (36.9%)
- ②事業費 (ライフスタイル企画)16,105,048円 (36.7%)
- ③事業費 (エンゲージメント企画)1,768,876円 (4.0%)
- ④管理費9,858,000円 (22.4%)

SUPPORTER

- 株式会社 菅原工業
- アサヤ株式会社
- 唐桑町 佐藤歯科医院
- 株式会社 カネダイ
- 唐桑御殿 つなかん
- 第十八 一九
- 株式会社 藤田製函店
- 森田 藤田 鐵工所
- 熊栄産業株式会社 松島網
- 有限会社 根口商店
- 有限会社 パートナーズ
- 栗菓子舗
- 気仙沼さん



maru-office

発行月: 2023年9月 発行: 一般社団法人まるオフィス デザイン: memento mori 志田淳 問い合わせ先: info@maru-office.com (MAIL) 宮城県気仙沼市南町2丁目2-17 1F



YEAR BOOK 2023

2022.04 - 2023.03

一般社団法人まるオフィス年報

団体概要



一般社団法人まるオフィスは、宮城県気仙沼市に拠点をおく教育&まちづくりNPOです。
東日本大震災を機に気仙沼に移住した若者と地元の若者が2015年春に立ち上げました。

VISION : 目指す社会
津々浦々で若者が大きな夢をもてる社会

MISSION : 果たす役割
地元の課題を学びに変える

メンバー



代表挨拶

地域と学ぶ「気仙沼モデル」に向けて

設立から8年半が経ったまるオフィスですが、皆さまのおかげでようやく事業が芽吹いてきました。中学校の放課後探究クラブと一緒に活動していた中学生が進学して、今度は高校生向けの探究学習塾と一緒に活動したり。地域で探究に取り組んでいた高校生が進学して、今度は大学生コーディネーターとして地域でがんばる高校生を支える側にまわってくれたり。市外から今もいろんな協力者が訪れるし、高校生を連れて市外に出かけることも増えました。気づけば私たちが関わる中学生の数は急増しています。中学生・大学生で学びの循環が起きはじめています。

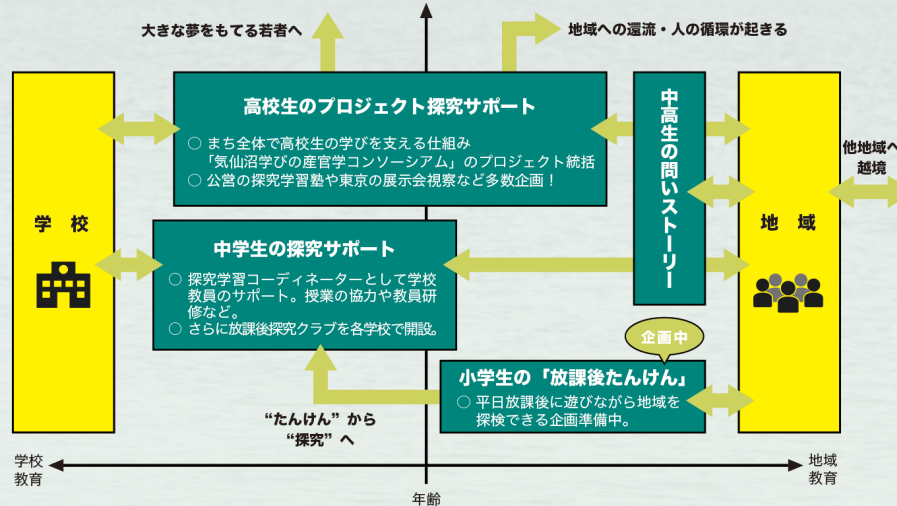
移住支援や関係人口づくりなどのまちづくり事業も、教育事業と相乗効果を生んでいます。私はこれを「気仙沼モデル」として他地域に輸出できるくらいの取組にしていきたい。毎年似たようなことを言っていますが、いよいよ見えてきたのかもかもしれません。まだまだまるオフィスの歩みを楽しみにしていただいね。

代表理事 加藤 拓馬

事業内容

学び企画 全体図

地域と学校をつなぎながら、
小・中・高とシームレス（継ぎ目のない）な学びの環境をつくる



中高生の探究的な学びを応援する事業です。「気仙沼市探究学習コーディネーター」として中学校の授業をサポートしている他、新たに立ち上がった「気仙沼学びの産官学コンソーシアム」では地域企業や行政、学校と連携して高校生の学びを支援しています。また、それらをマンガで分ける探究学習として、オリジナルサイト「中高生の問いストーリー」で地域内外に発信しています。



高校生のプロジェクト探究サポート



中高生の問いストーリー

- 学校訪問回数（打合せ含）
中学校：165回
小学校：38回
放課後探究クラブ：市内全10校中7校
- 気仙沼学びの産官学コンソーシアム講演会参加者数：のべ605名
実践型プログラム参加者数：のべ252名

※2022年度実績



中学生の探究サポート



小学生の「放課後たんけん」

ライフスタイル企画

一人ひとりのライフスタイルに合わせた気仙沼との関わりを案内する事業です。「気仙沼市移住・定住支援センターMINATO」の運営を通して、移住に限らず他拠点居住や副業などの提案も行います。



- 窓口相談件数：267件 ● 移住者数：47名
- お試し移住プログラム利用者数：27名

※2022年度実績

エンゲージメント企画

気仙沼に関わる人を増やしていき、地域内×外で起る挑戦を応援する事業です。起業家精神育成プログラムの地域コーディネーター、企業研修の受け入れ、地域課題解決型のワーケーションの推進など、市外企業が気仙沼でチャレンジするプロジェクトの伴走をしています。



- 企業受け入れ件数：6件
- 市外企業有志による地域活動伴走：1件

※2022年度実績